

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	地域人材による魅力創造事業			事業番号	25-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	企画部	山室 好正	広報戦略課	吉田 千恵子	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち	
		基本政策	6	産業の活力があふれる元気なまちづくり	
		施策展開の方向	11	多くの人が訪れる賑わいのあるまちをつくる	
		施策	25	シティプロモーションの推進	
予算事業名	シティプロモーション活動事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成29年度 ~		終了年度	
関連法令等					
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画	いせはらシティプロモーション指針			計画期間	令和2年度～4年度
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	若者がSNSを使って自己表現をしたり、仲間や社会との繋がりを構築するようになっていきます。また、他市町村で生まれ育った市職員の割合が高くなってきています。				
目的 (何をどうしたいのか)	若い世代の活力を生かすとともに、シティプロモーションを担う人材を育成しながら、地域の新たな魅力を発掘・磨き上げ・創造するシティプロモーション活動を実施します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民、学校、企業、関係団体、他市町村住民				
事業内容 (手段、手法など)	・教育機関との連携により、若い世代のアイデア等を活用し、地域の魅力の掘り起こしや創造につながるシティプロモーション活動を展開するとともに、伊勢原をより深く知るための自主的なプロモーション活動を支援します。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	大学等との連携	動画作成・配信	動画作成・配信		
	市民・団体等との連携	SNS配信等	SNS配信等		
	職員グループへの活動支援	イベント協力	イベント協力		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	プロモーション公認サポーター数	60団体(個人) (令和2年度)	63団体(個人)	66団体(個人)	



事業実施 (Do)

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	若者のアイデアやスキルを生かした短編動画を制作し、効果的に活用することにより、市内外へ強く「いせはら」を発信します。また、シティプロモーション公認サポーターの認定を推進し、各種SNS等を活用した連携強化を展開するとともに、著名人によるサポーター活動について調査・研究を行います。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	○ すべて直接実施                      ● 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>	
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b> 大学、市民・団体等との連携	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	
	大学等との連携	動画作成・配信	動画作成・配信	
	市民・団体等との連携	SNS配信等	SNS配信等	
	職員グループへの活動支援	未実施	未実施	
<b>実施した取組の内容</b>	産業能率大学及び向上高等学校と連携し、若者のアイデアを生かしたシティプロモーション動画の作成・配信を行いました。シティプロモーション公認サポーターの活動について市ホームページや公式SNS等で紹介したほか、名刺作成等の活動支援を行いました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>年度</b>		
		<b>【現状値】</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>
	プロモーション公認サポーター数	60団体(個人) (令和2年度)	63団体(個人)	65団体(個人)

	年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績				
<b>内訳</b>	<b>事業費合計 (a)</b>		0	千円	26	千円	0	千円	0	千円	
	<b>内訳</b>	国県支出金 ①		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		地方債 ②		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		その他特財 ③		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源 (a)-①-②-③		0	千円	0	千円	26	千円	0	千円
<b>国県支出金の内容</b>											
<b>コスト</b>	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	○ 有                      ● 無		<b>前回の改定時期</b>						
		<b>その他</b>									
<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>		0.04	人	327	千円	0.04	人	343	千円	
	<b>その他の職員</b>		0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	<b>人件費合計 (b)</b>		0.04	人	327	千円	0.04	人	343	千円	
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				327	千円			369	千円		
<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	年間入込観光客数			<b>単位</b>	年間入込観光客数			<b>単位</b>	
		<b>対象数</b>	1,411,642	人	1,708,866	人					
	<b>総事業費 / 対象数</b>	0	円	0	円						

**評 価 (Check)**

<p align="center"><b>進捗状況</b> 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A)</p> <p><input type="radio"/> 概ね計画どおり (B)</p> <p><input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)</p>	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>いせはらシティプロモーション指針に基づき、大学生との連携による動画作成や、シティプロモーション公認サポーターの活動支援、各種SNSによる情報発信を計画どおり行いました。</p>
<p align="center"><b>実施水準</b> 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B)</p> <p><input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C)</p> <p><input type="radio"/> 一律に比較できない事業</p>	<p align="center"><b>B</b></p>	<p align="center"><b>他 都 市 の 事 業 内 容 等</b></p>	<p>他市においても、企業や学生、市民団体等と連携した取組が積極的に実施されています。</p>
<p align="center"><b>有効性</b> 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い (A)</p> <p><input type="radio"/> 普通 (B)</p> <p><input type="radio"/> 低い (C)</p>	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>地域の活力を高め、若い世代へ伊勢原の魅力をPRする手段として有効な事業であり、今後も継続実施する必要があります。</p>
<p align="center"><b>効率性</b> 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A)</p> <p><input type="radio"/> 改善の余地がある (B)</p> <p><input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)</p>	<p align="center"><b>A</b></p>	<p align="center"><b>左 記 判 断 理 由</b></p>	<p>市民や学生、企業、関係機関と連携することにより、事業費や広告宣伝費等の経費をかけることなく、効率的にプロモーション活動が実施できています。</p>


 取組内容の改善 (Action) へ

**取組内容の改善 (Action)**

<p align="center"><b>所管部長による総評</b></p>	<p>学生等と連携したプロモーション動画の制作・配信は、市内外の若い世代に伊勢原の魅力をPRするツールとして有効であり、取組を継続します。また、シティプロモーション公認サポーターの登録数は増加しており、引き続き支援を行うとともに、制度開始から8年が経過していることなどから、今後の在り方を検討します。</p>
--	--